

山口新聞

平成 24 年 10 月 12 日 (金)

NO. 26



農地・水環境 守ろう 地域の手で

26

瓦の主屋が立ち並ぶ。周辺を高齢化の進展に伴う担い手の不足の中、地域をみんなが助け合い守ろうという思いで、草刈りや水路の泥上げ、農道の砂利補充など地道な努力を欠かさない。

萩市と山口市を結ぶ国道262号沿いに、「道の駅あさひ」がある。隣接する佐々並市の町並みは昨年6月、国の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定された。萩藩内の主要街道「萩往還」に設置された宿駅の一つで、幕末から近代にかけてのかわぶき、赤い石州豪雨災害で甚大な被害を受けた。集落をつなぎ支える農業用施設などの大切さ、誰もが身をもって感じている。

大下保全隊は、1966年の豪雨災害で甚大な被害を受けた。集落をつなぎ支える農業用施設などの大切さ、誰もが身をもって感じている。だからこなげていきたい。

大下保全隊 (萩市)

町並みをみんなで守りたい！

(会計、竹本昇)
|| 金曜日掲載 ||



上 隊員の皆さん
下 地域協同で取り組んでいる水路の泥上げ

【メモ】代表 || 藤本勝利
▽ 会員 || 40人、農家19戸、
農事組合法人おおしもフ
アーム、大下自治会、佐
々並婦人会、大下子供会
▽ 設立 || 2007年4月
1日▽ 連絡先 || 萩市佐々
並1632の1、藤本 ☎
08388・56・0556